

第56回東北地区高等専門学校体育大会 硬式野球競技 競技要項

1. 主催 東北地区高等専門学校体育連盟
2. 競技開催校 一関工業高等専門学校
3. 後援 一関市、一関市体育協会、
岩手県一関野球協会
岩手県東磐井野球協会
岩手県西磐井野球協会
4. 大会期日 令和元年7月6日(土)～7月7日(日)
※雨天順延の場合 8日(月)・9日(火)
5. 大会会場 一関運動公園野球場(メイン)(一関市萩荘字箱清水4-2)
東山球場(サブ)(一関市東山町長坂西本町169-4)
6. 参加資格 出場選手(女子を含む)は、各県の高等学校野球連盟に加入登録していない者に限る。
7. 競技人員 部長1名、監督1名、マネージャー1名、選手18名以内、計21名以内
8. 競技規則 (1) 2019年度公認野球規則による。また、高校野球特別規則に準ずる。
ただし、下記については、競技規則不適用事項とする。
[ア] 投手が同一イニングに投手以外の守備位置に2度以上つくこと。
[イ] 変則ダブルヘッダーの場合、投手が登板出来るイニングは両試合を通じて合計9イニング以内とすること。
(2) 使用球は公認球とする。
9. 競技方法 (1) 競技はトーナメント戦とし、3位決定戦を行う。
(2) 日没、降雨、雷等が生じた場合の試合の続行は、競技委員、総務委員及審判員の協議により決定する。
(3) 前項により試合の続行が不可能となった場合は、
[ア] 7回未満のときは、ノーゲームとし、再試合を行う。
[イ] コールドゲームは、7回完了若しくは6回半終了とする。
(4) 7回完了若しくは6回半終了までに点差が7点以上になった場合は、コールドゲームとする。ただし、決勝戦を除く。
(5) 延長戦は15回で打ち切り、再試合を行う。
(6) 雨天の場合は2日間順延とする。ただし、3位決定戦を行わない。2日間の順延後、なお競技が終了しない場合は、次のとおりとする。
[ア] 2チームが勝ち残っている場合は、
①両チームを1位とする。
②全国高専体育大会の出場については、両チームの協議により決定する。
[イ] 3チーム以上が勝ち残っている場合は、
①競技を中止する。
②全国高専体育大会の出場校は、協議により決定する。
10. 参加申込 (1) 申込期限 令和元年5月23日(木)【必着とする】
(2) 申込先 〒021-8511 一関市萩荘字高梨
一関工業高等専門学校学生課内
東北地区高等専門学校体育大会
硬式野球競技実行委員会事務局
TEL: 0191-24-4718 FAX: 0191-24-4530
11. 組合せ抽選 各高専の代表者による抽選を行う。
12. 代表者会議 (1) 日時 令和元年7月5日(金) 15:30～
(2) 会場 一関総合運動公園野球場 ミーティングルーム
13. 開閉会式 (1) 開会式 令和元年7月5日(金) 17:00～
(2) 閉会式 競技終了後

14. その他
- (1) 第2試合以降は、開始予定時刻を繰り上げて実施することがある。
 - (2) 試合に出場するチームは、試合開始予定時刻60分前に集合し、攻守決定とメンバー表の交換を主将によって行う。なお、主将の選手はメンバー表の背番号欄に○を記入し、テーピングやサポーターを使用する選手がチーム内にいる場合は同席し、審判と相手チームの確認を受けること。メンバー表は5通提出すること。
攻守の順序は、主将のジャンケンによって決める。
 - (3) ベンチサイドは、組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
 - (4) 試合前のシートノックは、各7分とする。シートノックにノッカー1名(選手と同じユニフォームとスパイクを着用し、ノック終了時は直ちにグラウンドから退場すること)、練習補助員3名(選手と同じ試合用ユニフォームで背番号がないもの、トレーニングシューズ、ヘルメットを着用)を加えても良い。
 - (5) 危険防止のため、打席に入るとき及び走者になったときは、必ず両耳付きのヘルメットを着用すること。
 - (6) 捕手が座って投球を受ける場合は、試合中、練習中を問わず必ずマスク、ヘルメットなどの捕手用具を着用すること。
 - (7) 手袋、リストバンド、サングラスの使用を認める。
 - (8) スパイク表面の色彩をチームで統一し、黒色とすること。
 - (9) 試合中攻守交代は、特に迅速にすること。
 - (10) 攻撃及び守備のタイムは1試合にそれぞれ3回までとする。延長に入った場合、それ以前の回数に関係なく、1イニングにつき1回までとする。
 - (11) 監督と選手は審判員のジャッジに対して抗議することはできない。審判員に対するアピールができるのは規則適用上の疑問をただすとき認められるが、主将、伝令または当該選手に限られる。
 - (12) バット、ヘルメット、キャッチャーの防具の点検は、審判員が行う。
 - (13) 選手は必ず1番から29番までの背番号をつけること。
 - (14) 球場内のブルペンを使用する場合は、試合をしている該当チームの許可を得ること。
 - (15) 各球場の「利用の心得」を遵守すること。